

月刊

GPP



Vol.75

令和4年2月号

株式会社
グロースパートナーズ

NEDOグリーンイノベーション基金事業に採択された！

RRCS加入者でコンソーシアムを形成し、NEDOのグリーンイノベーション基金事業に公募していたが、見事、採択された。事業総額100億円、補助金総額88億円の超大型案件だ。因みに、RRCSに資金が入るわけではないので、誤解なきように・・・

NEDOが公表している資料にはNEDOから見て委託先と再委託先のみしか掲載されないのだが、実はグロースパートナーズもこの事業にはしっかり参画している。残コンにセルドロンを添加して粒状化させる、つまりドロドロの生コンクリートにセルドロンを混ぜてパサパサにすると、「物体としての面積が増える＝空気との接地面積が増える＝CO2をより吸収する」のだ。

まさに脱炭素社会に貢献するのだ。

詳しくは裏面へ！



この事業は研究開発項目“1”と“2”に分かれ、我々は“1”に参画させて頂いているが、錚々たる企業に囲まれて誇らしくあるのは間違いない。しかし、何より“2”にご注目頂きたい。コンクリートにおけるCO2吸収量の測定、LCA、LCCの研究を進めようとする、この陣容にならざるを得ない。まさに最強中の最強のメンバーが揃っている。

このNEDOによる採択は、日本はもとより世界中のメディアにリリースした。環境や脱炭素については、まだまだ海外の方が敏感だ。アメリカと英国のコンクリート系・建設系のメディアにはほぼ全て掲載された。さて、どれだけ花が咲くか、楽しみである。

藤井 成厚

■浚渫で採用決定！？

小さい池の案件ですが、セルドロンが採用いただけそうです。進捗があり次第ご報告いたします。

最近では生コン用途の活用が多かったため、土壌用途の活用報告がなかったのですが、いくつか大型案件の引き合いもあります。こちらでも進捗があり次第ご報告致します。

その他、ご相談も引き続きお受けしております。

セルドロンに関する疑問質問は営業 土井まで



03-4405-2642

発行：株式会社グロースパートナーズ



CARBON POOL コンクリートの開発と実装及びLCCO₂・LCA・LCC統合評価設計システムの構築

事業の目的・概要

【研究開発項目1】セメント焼成工程などで発生するCO₂を、コンクリート由来の産業廃棄物に固定化させるという**地域内循環**を構築し、さらに新たな技術を用いて引き渡しまでに**CO₂固定量を最大化**したCARBON POOL (CP) コンクリートを開発する。CPコンクリートの施工性や耐久性を確保し、**舗装のみならず、建築・土木構造物にも実装**する。

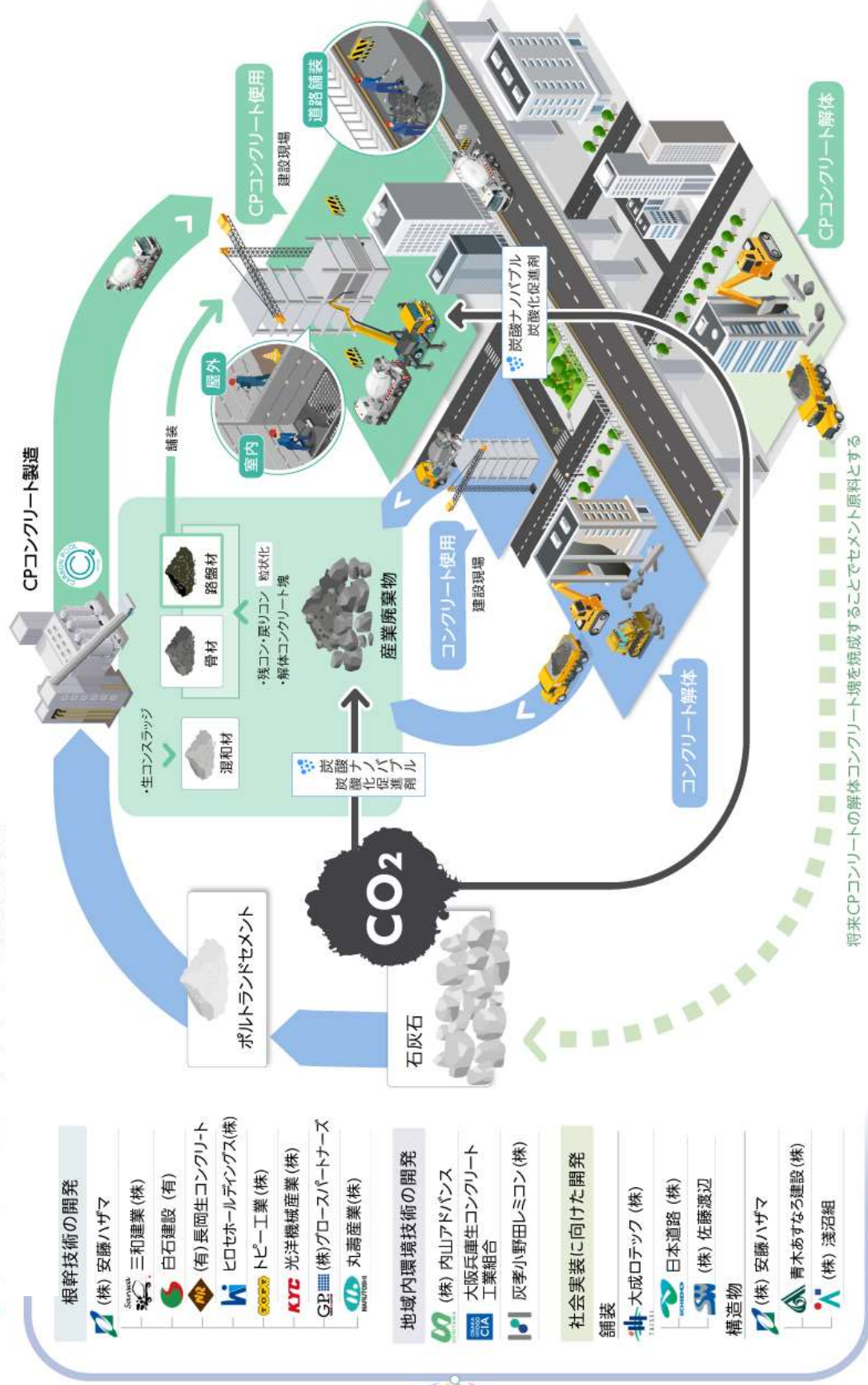
【研究開発項目2】LCCO₂・LCA・LCCの総合評価システムを構築することにより**ESG金融の促進**や**カーボンプライシング**をサポートし、脱炭素社会に貢献する。

事業イメージ

✓ LCCO₂・LCA・LCC 統合評価設計システムの構築



✓ CARBON POOLコンクリートの開発と実装



- 根幹技術の開発**
 - (株) 安藤ハザマ
 - 三和建業 (株)
 - 白石建設 (有)
 - (有) 長岡生コンクリート
 - ヒロホールディングス (株)
 - トビー工業 (株)
 - 光洋機械産業 (株)
 - GP (株) グロースパートナーズ
 - 丸高産業 (株)
- 地域内環境技術の開発**
 - (株) 内山アドバンス
 - 大阪兵庫生コンクリート工業組合
 - 灰孝小野田レミコン (株)
- 社会実装に向けた開発**
 - 大成ロテック (株)
 - 日本道路 (株)
 - (株) 佐藤渡辺
- 舗装**
 - 安藤ハザマ
 - 青木あすなろ建設 (株)
 - 浅沼組 (株)
- 構造物**
 - 安藤ハザマ
 - 青木あすなろ建設 (株)
 - 浅沼組 (株)